



1階・重信さん世帯の雨端型玄関。和室の縁に腰掛けてのユンタクも自然と弾む。踏み台は靴箱になっていて、大勢の来客があっても、玄関はいつもすっきり(写真/高野生優・フォトアートたかの)

## 優しく迎える雨端型玄関

### お住まい拝見

(知念重信・重聡さん宅)

後方に緑の斜面が広がる中部の閑静な集落。知念重信さんは、父親が建てた旧家を、息子・重聡さん家族と暮らす2世帯住宅へと建て替えた。「本土復帰前に建てた家でしたから、老朽化もひどかった。何とかしなくてはと思いつつも、親父自慢の家だったから、なかなか踏み切れなかったと振り返る。そんな重信さんの心を動かしたのは、住宅情報紙の広告だった。

### CONTENTS

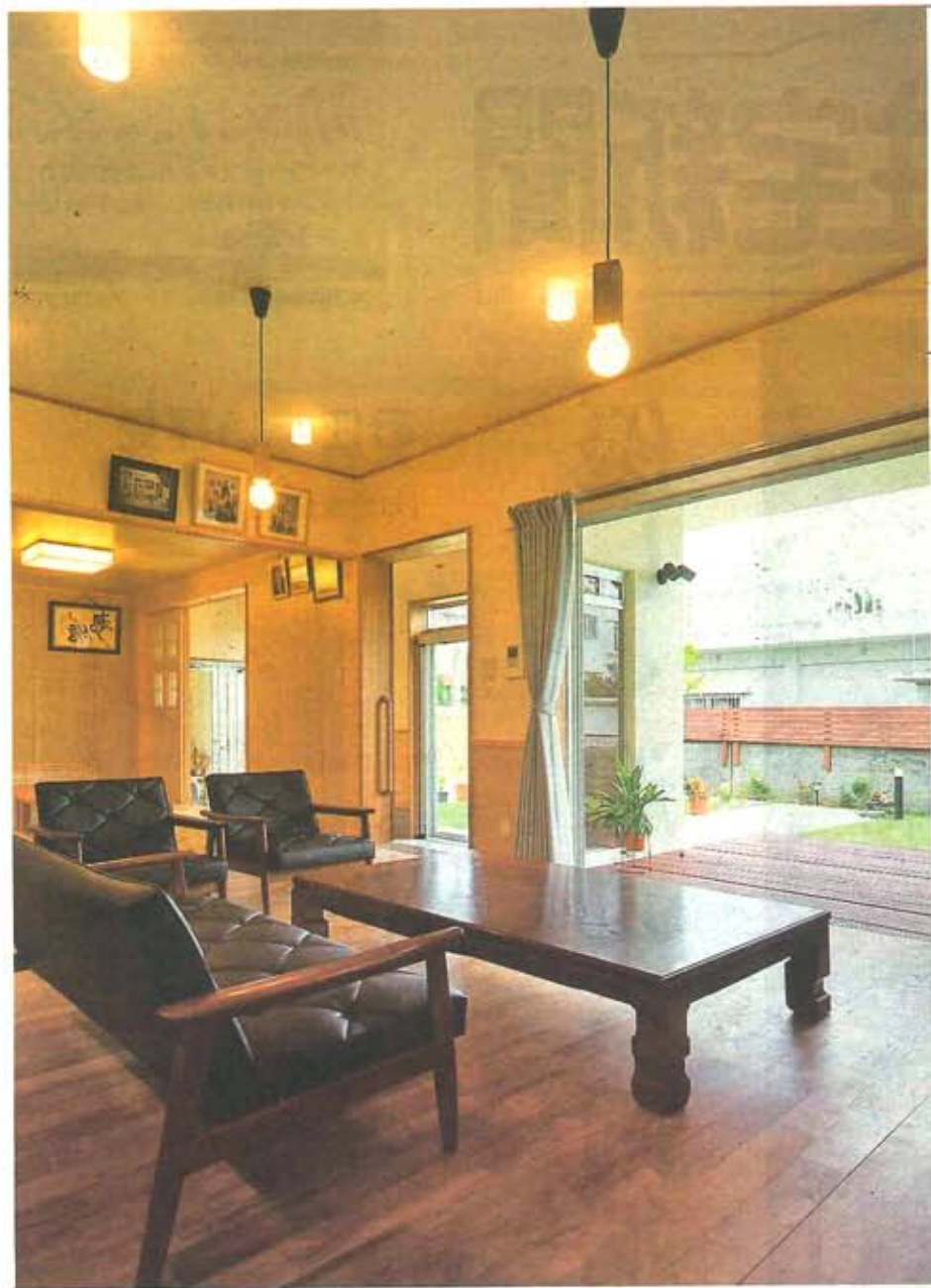
- 4 マネーガイド/中古住宅の履歴  
購入前に登記簿確認を
- 5 高齢になっても/特養老「守礼の里」  
自立への第一歩「トイレ」
- 11 第8回沖縄建築賞  
緑と共生の建築に大賞
- 12 こだわり空間案内人/神谷牧人さん  
おしゃれな福祉施設提案
- 20 レベルupリフォーム  
事務所を住まいに一新

検索するなら ▶ タイムス住宅新聞  クリック

発行 株タイムス住宅新聞社  
〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14 ☎098-934-1122(代)  
☎098-934-2287(編集部) ☎098-934-6677  
http://www.jpresse.co.jp E-mail jyutaku@jpresse.co.jp

**沖縄タイムス** 本紙は「沖縄タイムス」とセットで配達される副読紙です。購読の申し込みは上記の電話へ。





1階リビング・ダイニング。和室とはもちろん、奥のデッキテラスともつないで使いやすくした。「電球色の蛍光灯からの温かい光も気に入っています」と重信さん



### お住まい拝見

(知念さん宅)

翌週には、設計を頼んでいましたね。それがなかったら、家の中も段差が多く、母親のことを考えると不安でした。建築士に要望したのは、家族に必要な部屋や収納を確保しながら、家事もスムーズにこなせる間取り、ムートウヤ1なので大勢の来客にも対応できる2世帯住宅だった。

広いデッキテラスが特徴。子どもを適度な距離感で見守りたいと思っただけです。以前の家でも、居間を通らないと自分の部屋に行けなかったから、その点は親父から自然と受け継いだんでしょうね」と目を細める。家の中や庭と、所狭

## 4世代でも適度な距離感

人柄にほれ設計頼む  
「リフォーム完成見学会の広告に、建築士の顔と人柄が伝わる文章が載っていて衝撃的だったんです。実際に建築士とお会いしたら、謙虚で誠実な人でした。翌日、家族に見学会に行くように話し、その

建て替えていなかったかもしれない」と語る重信さん。  
当初、重信さんの両親と兄弟が住んでいた旧家は、両親と重信さん家族で暮らすには不便になっていた。「80歳を超える母親は居間の端で布団を敷いて寝て、わたしたち夫婦は増築したプレハブで過ごす状態

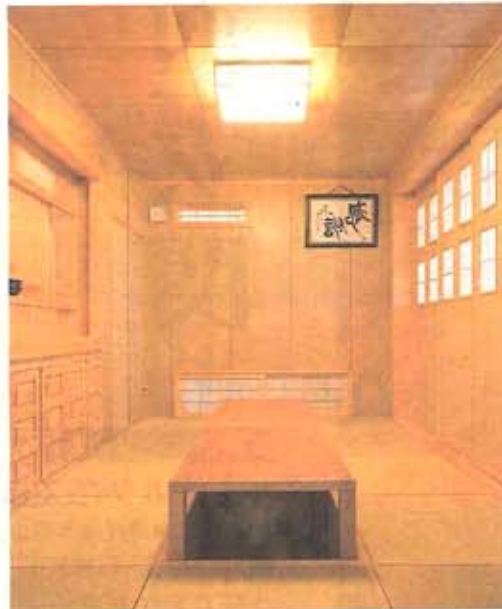
家事をよりしやすく  
出来上がった2階建ての住まいは、1階に重信さん世帯、2階に重信さん世帯が暮らす。幅の広い雨端型玄関や掘りこたつがある和室は、大勢の客をゆったり迎えるスペース。「和室の縁に腰掛けてちよつと

旧家の手すり柱に  
ンルムのLDKと子ども室の間に造られた、屋根付きの

瑞吾くん(左)と侑瑚くんが背比べをしている柱は、旧家の階段で使われていた手すり。「一家のこれまでの暮らしを知る『生き証人』を、新しい家でも使いたかった」と設計者の赤嶺さん。楽しそうに傷を入れる2人にも伝わっているようだ。



1階物干し場。朝、重信さんがコーヒーを飲みながら新聞を読む書斎スペースでもある



重信さんお気に入りの仏壇がある1階和室。掘りこたつでゆったりくつろげる。「近いうちに、刺しゅう教室を開く予定です」と夫人



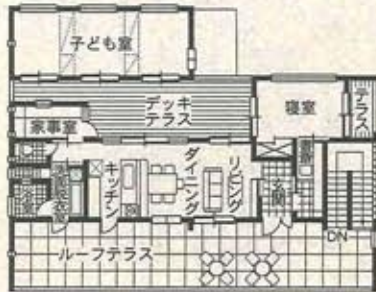
2階デッキテラス。ポリカーボネートの屋根で天気を気にせず思いっきり遊べる



2階・重信さん世帯のLDK。右手のデッキテラスを挟んだ子ども室で遊ぶ子どもたちの様子も見える。ダイニングにあるオーダーメイドのカウンターは、必要に応じてテーブルにもレイアウトを変えられる優れもの



平面図



2階



1階

家族構成：親世帯／夫婦、娘、母親  
子世帯／夫婦、子ども2人

敷地面積：487.2㎡(約147.38坪)

1階床面積：137.66㎡(約41.64坪)

2階床面積：90.97㎡(約27.52坪)

建ぺい率：35.19%(許容80%)

容積率：46.93%(許容200%)

用途地域：未指定地域

躯体構造：鉄筋コンクリート造壁式構造

設計：1級建築士事務所Simple 赤嶺しげたか

構造：南建築設計庵

施工：南仲真組

電気：南セブン電設

水道：南大嶺設備工業

キッチン：収納計画 南CASA

建築データ

1級建築士事務所Simple(しんぷる)

☎098・939・2901 <http://simple2525.com>

快適  
つくる  
裏方さん

1級建築士事務所Simpleに聞く設計のポイント

## デッキ使い快適さアップ



引き戸を開け放った状態。キッチン前面は収納になっている



引き戸を閉めた状態。急な来客で隠したい場合に便利だ

知念さん宅のプランは、家族一人ひとりから、前の家の良い点と悪い点を聞くことから始まりました。そこから得た主な設計のヒントは、①作業がスムーズにこなせる造り②居心地の良さ③適度な距離感の3つがそろうた「家族みんなにやさしい住まい」であることでした。

上、短い距離で料理・洗濯・物干しができる間取りに代表されます。キッチンはリビング・ダイニングに対面させつつも、必要に応じて引き戸で目隠しできるようにしました(左写真)。

②は、雨端型玄関をはじめ、掘りこたつ式の和室、リビング・ダイニングを和室に隣接させて、大勢の来客でもゆったりくつろげる造りに。また北西側に水回り、東側に玄関

1階のリビング・ダイニングの前面や物干し場、2階のLDKと子ども室の間など、屋根付きのデッキを、室内の延長として多く設けているのも、知念さん宅ならではの、キッチン隣にある多目的デッキは、行事のとき、炊き出しするのに重宝したそうです。家族にとって大切な思い出を丁寧なすくい上げ、設計に落とし込む。設計者として、そんな住まいづくりをお手伝いしたいと考えています。

